



全国女性交流集会で記念講演する田村智子参議院議員 (11月6日於：湯河原)



No. 582

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟
編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都
文京区湯島2-4-4
平和と労働センター・全労連会館
電話 03(5842)6461
FAX 03(5842)6462
E-mail
chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

新支部の結成は2万人同盟建設の要

請願署名・会員拡大の自主目標の達成を！

静岡県熱海市の会場には、28都道府県から95人が参加。活動の成果や悩みを出し合い、女性部活動を前進させていくことを誓い合いました。

3分の1が初参加。吉田万三中央本部会長は「侵略戦争に反対してたたかった治安維持法犠牲者に謝罪と賠償を求める同盟の役割が重要」と強調しました。

田中幹夫事務局長は、同盟の到達点と今後の課題について報告。大石喜美恵女性部長は、「全県に女性部をつくり、アイディアを出し合って魅力ある活動を」と呼びかけました。

田村智子共産党副委員長・参議院議員が、「女性の権利・ジェンダー平等 時代を拓く不屈の

たたかい」と題して記念講演。共産党に入党した体験や治安維持法のもと、戦前の女性のたたかいを紹介。20年代に決着をつけるには侵略戦争と向き合える政府が必要で、共闘の再構築が求められていると強調しました。

澤田勝雄編集長が『治安維持法と現代』22年秋季号の内容を紹介。犠牲者の遺族で埼玉県本部会長の加藤ユリさんをはじめ、国際部長の岩下美佐子さん、東京の風間秀子さん、永田佳さん、島袋和美さん、JAL非解雇者労働組合の山田純江さんが報告しました。2日目は5つの分科会が開かれました(詳しくは報告集にまとめて発行する予定です)。

3年ぶりに全国女性交流集会 11月6～7日

主な記事

- 全国女性交流集会開催 1
- 常任理事会開催 2
- 同盟回顧／国内外の動き 4
- 抵抗の群像／本庄陸男 6
- 同盟文芸／短歌・俳句・川柳 7

常任理事会開催 11月1日

冒頭、9月からこの日までに亡くなられた犠牲者の水谷安子さん(108歳)、DVD「種まゝ人々」のプロデューサー植田泰治さんをはじめとするみなさんへの黙祷をおこないました。吉田万三会長のあいさつでは、10月30日に東京で港支部が結成されたことを紹介。続いて全国のプロロック集会について、①元気で活気あふれる集会だったこと、②千代子映画が同盟に活力を与えていること、③元氣になりきれない県も刺激になったことを紹介。続いて田中幹夫事務局長から10月30日に長野県で諏訪南、諏訪北支部が結成されたこと、会員拡大では大会現勢の23人増で16631人になったと報告。この拡大に千代子映画(350会場6万人鑑賞)の果たした役割を強調。特に、石川では28人が入会、NHKが上映運動とともに治安維持法で弾圧された家族の思いも紹介する6分間の番組放送を報告。続いて榎本財政部長から年末カンパや名刺広告などを報告。

「全国常任理事会の発言」

○岩下美佐子(国際部長) 国際人権委員会の報告、若者に「東アジアの未来に希望の種をまこう」の意図で「笹の墓標展示館」のための全国巡回展の取り組み。○藤田廣登(中央顧問) 映画「伊藤千代子の生涯」の第1・2次上映運動の推移と到達点、そして第3次運動への提言。○大石喜美恵(女性部長) 日本女性のおかれた実情と「ジェンダー平等」実現にむけた同盟女性部の役割。○上田実(福岡) 3年ぶりの九州・沖縄プロロック交流集会の沖縄開催にむけて。○宗形孝至(神奈川) 共産党神奈川県委員会主催の「千代子」映画上映計画など県内の取り組みの状況。○高原久美(徳島) 「笹の墓標展」を四国を1周する取り組みについて。○村山純(沖縄) 沖縄県知事選と那覇市長選への全国からの支援、中央政府の県民裏切りの歴史と闘いの伝統の立場から。○大野辰男(埼玉) 県本部独自の「署名・会員拡大の特別期間」(10月)の到達点と教訓。○高橋妙子(千

葉) 県女性部発足から2年、コ

ソコツとした歩みから見えてきたもの、千葉市支部に女性部誕生のこと。○瀬野幸男(山形)

「同盟運動とは何か」をテキストで学び直す取り組みを県本部役員会先頭に広げてきた意義は。○ワタナベコウ、ツルシカズヒコ(特別発言) 「千代子映画」上

映運動を対談、講演・宣伝冊子作製で参加しての感想。○本間昭一(北海道) 道本部新態勢下での努力、腹の底から同盟とは何かを理解してもらったための学習の大切さ。○甲斐貴雄(大阪)

2000人会員で23年新年を迎えるために。○西田清(滋賀) 同盟組織の弱い地域での「千代子映画」上映での教訓など。○勝部志郎(兵庫) 「千代子映画」上映運動と同盟建設の独自の取り組みの関係。○早崎未浩(静岡)

東海プロロック交流集会の取り組み。○中嶋育雄(東京) 港支部の発足、支部中心の組織建設の大事さ。以上、16人とゲスト2人が発言し、経験交流しました。



台東区谷中を散歩していたら「兵戈無用の教えに生きよう輝け憲法九条！」の横断幕に出会った。

谷中一丁目の宗善寺、真宗大谷派の寺院である。早速謂れを聞く。仏教では「兵戈」は「ひょうが」と読みが下る。以前からこの寺には憲法・平和の幕が掲げられ、読売新聞社が改憲試案を出した2004年当時は「憲法九条を世界に輝かせよう！」が掲げられていたという。これは05年3月20日「しんぶん赤旗」で報道されている▼先月「不屈」の「私も一言」に登場した北海道の殿平善彦さん(一乗寺住職)が書かれた「笹の墓標展」が全国展開され、微用工問題を東・西本願寺がひとつになって問題提起している。9月の「国葬」反対国会前集会では「念仏者九条の会」の方の感動的な挨拶も聞いた▼僧侶が積極的に前に出てきています。特に日本最大の信者数をもつ東・西本願寺が積極的なのは素晴らしいことだ「憲法守れ！九条守れ！」をひとつに束ねて。(永)

ブロック交流集会

近畿

11月7日、8日と治安維持法犠牲者国賠同盟近畿ブロック経験交流集会が和歌山市で開かれました。

近畿各府県より48人が参加しコロナ禍の下での活動のむづかしさや困難を語り合い経験を交流しました。

第1部では立命館大学教授植松

健一氏による講演「『日本・国・憲法』の困難と希望」が行われました。立法や施策により日本が高度な国防治安国家になることがも

くろまれているとの説明。日本国憲法の底力を発揮するたたかいをしようと激励されました。

第2部では大石きみえ中央本部副会長から本部常任理事会報告と、女性部の活動の強化が訴えられました。引き続き各府県からの報告がおこなわれ千代子運動を通じて

の組織拡大運動の教訓が共通して語られました。

分散会では支部の活動を中心にした交流が活発に行われ組織拡大、機関紙活動、会費の問題などの教訓を学びました。

(和歌山県本部事務局長・鶴田至弘)

九州沖縄

11月19日、20日、那覇市で、あけぼの印刷との共催でシンポジウムが開催され、九州沖縄各県から

の参加者をふくめ60人が参加しました。県本部の村山会長が基調報告、3人のパネリストが意見をのべました。村山会長は、資料にもとづいて沖縄県民の戦前戦後の歴史と闘いを振り返りながら報告、「自公政権がすすめる戦争への道を断じて許さない。全国の仲間と連帯して闘ってきた県民の不屈の闘いに誇りと確信を持つ」と訴えました。

交流会では中央本部の田中事務局長が報告、それぞれの県の実情を報告しあい、同盟の強化にむけて意見交換をおこないました。

20日は南部地域の「沖縄戦の戦跡」などを視察・訪問、「4人に1人が亡くなったあの沖縄戦の悲劇を繰り返させない」という決意を新たにする旅となりました。

沖縄県本部は12月3日に、「映画・伊藤千代子」の第2次上映をおこないます。交流集会の成果をふまえ、その成功の為に奮闘しているところです。

(沖縄県本部長・村山純)

(7ページにつづく)

私一言



は。その流れが、侵略戦争への反省もないままに脈々と引き継がれ政治をゆがめてきたのだと思います。J

柳河瀬精さんの「告発！戦後の特高官僚」を読んで、愕然としました。あの特高官僚たちが、戦後、アメリカの占領政策もあり、国会議員や行政機関、裁判所などの要職にこれほど就いていたと

あきらめずにたたかい続ける

山田 純江

ALによる165人の不当解雇争議はこの大晦日で丸12年になります。解雇時点で莫大な利益を上げ、更生計画の削減人数も大幅に達

心信じましたが、歪められた裁判だと思っています。いま、都労委でのたたかいを軸に、納得のいく解決を引き出すまで、JALと監督官庁である国交省の社会的責任を追及し争議の全面解決のために奮闘します。

(JAL被解雇者労働組合)

高裁判事が社外取締役に就いていました。公正な判決を求め司法の良

同盟回顧

2022年

国内外のうごき

1月6日 全労連・国民春闘共闘会議旗開き
 1月10～11日 「不屈」編集部新春合宿
 1月14日 試写会「われ弱ければ―矢嶋楯子伝―」

1月17日 通常国会開会日行動、米軍コロナ
 対応緊急外務省行動
 1月18日 映画「わが青春つぎるとも―伊藤千代子の生涯―」撮影完了記者会見
 オンライン三役会議

1月30日 三役会議
 2月5～6日 日本国民救援会中
 中央委員会
 増本一彦会長死去
 建国記念日反対集会
 オンライン・三役会議
 日本母親大会代表者会議・母親大会実行委員会
 共産党福岡県委員会を訪問
 三役会議
 中央常任理事会
 第75回解放運動無名戦士合葬祭式



7月11日 山梨県本部総会
 6月22日 参議院選告示日
 同日 NHK取材・治安維持法犠牲者「島流し事件」
 7月18日 会長・事務局会議
 7月20日 長野県本部総会
 同日 日本共産党中央委員会表敬訪問
 三役会議
 7月30日 山形県本部総会
 8月3日 北信越ブロック会議
 8月8日 会長・事務局会議
 8月15日 8・15池袋駅宣伝
 8月19日 女性部役員会
 8月27日 埼玉県本部総会
 8月29日 神奈川県本部総会
 8月31日 三役会議
 9月1日 中央常任理事会
 9月13日 布施辰治墓参
 9月19日 会
 東京都本部大会、同日改憲阻止、安倍国葬反対中央集



1月12日 愛知県知事リコール署名偽造で有罪判決、名古屋地裁。
 1月19日 新型コロナパンデミックを受け、英米など9カ国の富豪1000人が、富裕層課税をもとめて書簡。
 2月21日 ロシアがウクライナの東部地域の「独立」を承認。軍の派遣を指示。公安の情報提供は違法。風力発電所計画をめぐる住民運動つぶし、岐阜地裁。
 2月24日 ロシアがウクライナ侵攻開始、各国一斉に非難。
 3月2日 国連総会、ロシアによるウクライナ侵略を非難決議。
 3月13日 自民党大会で安倍首相、参院選で改憲加速へ執念示す。
 3月16日 国際司法裁判がロシアの侵攻即時停止を命令。
 4月3日 安倍首相「敵中枢攻撃も含めよ」と地元山口県で講演。
 4月28日 衆院で沖縄の本土復帰50年決議。共産党は「基地の整理・縮小」「日米地位協定の見直し」に不満として反対投票。
 5月18日 フィンランド、スウェーデンがNATOへの加盟を申請。
 5月29日 平和ゼミナールの高校生、大学生がウクライナ侵略への抗議行動。

抵抗の群像



作家として教育者として貧しき人々へ
愛着込めて駆け抜けた34年

本庄 陸男

本庄陸男は石狩当別町で1905(明治38)年に生まれました。

父は佐賀県から入植した開拓農民。荒物雑貨店もしていました

が13年、石狩川の洪水で売掛金が回収できず破産。北見国上渚滑村(現北見市)の開墾地に再度移住。

19年紋別高等学校を卒業、母校の渚滑小学校の代用教員になりました。

本庄に勉強を習った上石春一さん・つたえさん夫妻は後年、「本庄先生には『昨日は忘れて明日を見つめて生きることを』を教えて頂いた」と話しました。

本庄は翌年、兄が勤めていた樺太の王子製紙の職工となり、その賃金を貯えて21年に上京。東京の青山師範学校に入学、成績優秀で24年卒業、東京本郷の名門・誠之小学校の教員になりました。

当時、青山師範は、成績トップの学生は学習院へ、その次は誠之小学校へ赴任させました。誠之校

は名門校、金持ちの子弟が集まってくる学校でした。しかし本庄は29年に希望して下町、深川の明治小学校に転勤します。

明治小学校では東大出の教頭が先頭になって「知能別学級」を「編成」、一部の生徒に受験教育をして、中学入試合格率1番で知られていました。本庄は進んで「学業不振児」学級の担任を希望しました。

「やれ着物が汚いの、画用紙が買えなかったのと、それでもって落第くらったんじゃないかまねいですがすよ」。それでも「小学校も出てないじゃ、今時、小僧にも出られねえからよ」と水上生活者の父母は言います。

本庄はそうした親の声に耳を傾けて、子どもたちに寄り添い、「分かる授業」に取り組みます。

本庄は「発育不全の富次が自分の肉体みたい」に感じ「なんとかしてこの子どもたちも人並みにし

たい」と奮闘します。

子どもたちは、自ら授業を作っていきます。「あたいが修身してやらあ」「あたいが三つの時のことなんだ、しんさいがあつてさ」「手前も朝鮮人だろうっていわれた時にやあ、あたしも肝っ玉がふつとんじやったぞ」。

一方で本庄は、師範在学中から『文学世界』などに投稿していましたが、27年、教育労働運動の源流となった青年教師の文芸同人誌『義足』を発刊し、前衛芸術家同盟に参加します。

この年、大屋清子と結婚。彼女は両親を失い、妹と共に働いていました。28年、前衛芸術家同盟がナツプに合流し、さらにナルプが結成されると、本庄は実務を担当し一方で小説、童話、教育評論などを精力的に書き始め、『前衛』『戦旗』『教育時論』などに発表しました。

29年、教員組合的な組織、小学校教員連盟を作り、短期間に60人の会員を増やしましたが、30年1月に弾圧を受け、学校を追われま

す。以後、教師の労働組合は非合法状態におかれます。

この年、「資本主義下の小学校」

を書きますが、すぐ発売禁止になりました。学校免職後、3月にプロレタリア教育研究所を設立し、8月に新興教育研究所に合流します。「新興教育」は現在の「民主教育」の語に置き換えても良いでしょう。しかし、所員や雑誌『新興教育』の読者は、のちに「治安維持法」によって弾圧されていきます。

本庄は32年、日本共産党に入党、妻の献身的な努力に支えられての活動でしたが、清子は34年1月病死しました。その後、名作『白い壁』(関東大震災時の朝鮮人殺害や貧しい子の無垢な魂を描いた作品)、そして三部作構想の長編『石狩川』を発表しますが、34歳、第一部を書いたところで病に倒れました。39年7月25日でした。

62年に出版された遺稿集『団体』の標題作には小林多喜二の遺体を囲む人々が活写されています。

『石狩川』は、56年『大地の侍』の題で映画化(東映)。当別町太美の石狩川河畔にある「文学碑石狩川」は高見順の揮毫によるもので、64年7月23日、除幕されました。

(北海道本部長・宮田汎)

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

沖繩の闊い冷笑する者への熱き未来の言葉を磨く

沖繩県 塩田 伸子

秋雷の鳴る中配る党のビラ濡らさじと探すポストの位置を

兵庫県 岸本 守

山焼きの灰の下より芽吹く草のちはいつもたたか

埼玉県 白川 洋子

小淵沢は今や紅葉の真盛り高原列車は走る秋に染ま

埼玉県 福家 駿吉

「GOTOだ」「食料券だ」とマスコミは煽れど老

岐阜県 和田 昌三

いには何の利もなし

岐阜県 田中 良

三十年ぶりマスクしてても分かる君と再会を喜び合

岐阜県 田中 良

う憲法集会

岐阜県 田中 良

統一教会と癒着底なし日本の政権党の矜持はいずこ

岐阜県 田中 良

アイスランドのジェンダー平等一位なり日本百二十

岐阜県 田中 良

一位とは情なし

岐阜県 田中 良

SNS食料支援の呼びかけに駆けつけくる学生の切

岐阜県 田中 良

実な声

岐阜県 田中 良

俳句

党百年われらもと期す新年へ

望月たけし選

雪待月いくさ原発気象危機

神奈川県 天野三葉子

義母の味教え引き継ぐ吊るし柿

東京都 岡崎たかね

訃報欄友の名があり秋灯

埼玉県 大野 辰男

流されず生きぬく日々や秋深む

埼玉県 小池 莊八

〈評〉一句目の中七は「われらもと期す」という

切れになります。座五の「新年へ」は、未来はいっ

せい地方選挙の年、ぎかいの多数を得ての社会変革。

頑張ろうという、爽やかな決意です。

川柳

核持てば何んでもできる傲慢さ

鈴木いさお選

〈評〉ウクライナへ核をちらつかせるロシア、狂っ

たようにミサイルを打ち上げる北朝鮮、核をかざし

て横暴を繰り返す彼等の行動は断じて許せない。

軍事対軍事9条生かせ外交だ

決断力聞かない耳が災いし

世紀越えカルト自民の奥に住み

お歳暮がまたまた届く化石賞

大阪府 大和 峯二

大阪府 大和 峯二

大阪府 大和 峯二

大阪府 大和 峯二

中国

(3ページから)

つづく

11月18日、岡山市の民公会館で

開かれた「中国ブロック交流会議」

は中国5県から会長、事務局長ら

10人が参加した。各県からの発言

の主な内容は、○広島、吉岡事務

局長、3年ぶりの県本部大会を25

人参加で開催。8地域に支部建設

を目指す。「千代子映画」は県内

で150人が鑑賞。○岡山、美作

支部(中西福会長)、千代子映画

上映で請願署名、190筆。津山

市では、鑑賞者1000人余、真庭

市で3人が会員となり、支部建設

の展望が。岡山、河井会長、県内

で千代子映画を16回上映をし、9

50人が鑑賞。220人の岡山支

部の分割を展望。○島根、原星事

務局長代行、千代子映画上映は太

田市で成功。松江、出雲市などで

計画中。○鳥取、竹中会長、千代

子映画は鳥取市で107人が参加。

○山口、中村副会長、下関、山口

の両市で支部を確立し千代子映画

を開催。2時間の会議で本音で実

態を語り合い意見交換ができた。

創立40周年記念のつどい 同盟大阪府本部

大阪府本部は11月16日(水)道頓堀ホテルに於いて創立40周年記念のつどいを開催しました。来賓、会員あわせて60人超が出席しました。

大石喜美恵会長の主催者あいさつに続き、中央本部事務局長田中幹夫さん、日本共産党大阪府委員会からタツミ・コタローさん、日本国民救援会大阪府本部から伊賀カズミさんにお祝いの言葉をいただきました。

記念講演は小樽商科大学名誉教授の荻野富士夫先生が、この春大阪府本部が再刊した『告発戦後の特高官僚』(故柳河瀬精著)から学ぶことは何か、と「朝鮮・台湾で治安維持法はどのようになされたのか」の演題で90分間お話をされました。

アジア圏



において治安維持法がどれほど凄まじく人民大衆を弾圧したか、この研究の集大成の本を読者の皆さんにも是非お読み頂きたいと思います。

※感想文から

治安維持法についての講演を聞くと、人間生活のありとあらゆる場面に関係してくるので、幅がとてまもなく、なまじつかな学習ではとても追いつきそうにありません。学習よりも運動主体の人生ではより深く学ぶ時間が足りません。コツコツと継続するしかありませんね。

※懇親会では

始めに三上撰(せつ)さんのマリンバ演奏を楽しみました。その後は乾杯をし、飲食しながら参加者からのテーブルスピーチをお聞きました。

映画「わが青春つぎとつ」
上映運動コナー

◆400会場・7万人到達記念・
全国交流会

①日時 2022年12月22日(木)
午後1時半～4時

②メイン会場 金沢連合会館2階ホール / 全国オンライン

③畑田重夫全国の会会長追悼 / 事務局・藤田廣登

④挨拶と報告 桂壮三郎監督

⑤ミニ講演 「独立プロ運動と映画『わが青春』」 / 石子順

⑥出演俳優挨拶(予定・交渉中)

⑦フロアー発言 / オンライン発言 各7分間

⑧同盟中央本部へ『田村月報』呈呈式

⑨参加希望者 フロアー30人

⑩申込先
オンライン50人

藤田

090・4527・1129

mail: fujitahiro@outlook.com

井藤

170・5075・8263

mail: itto-men@agate-plala.or.jp

第2部

4時～6時 交流懇親会 会費2000円

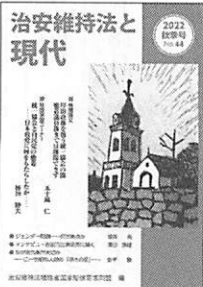
【訂正】

本紙11月号4ページの3段目、司法書士の円山幸一郎さんを円山晃一郎さんに訂正します。

2022年秋季号(44号)

『治安維持法と現代』

好評発売中



【主な内容】〈巻頭論文〉岸田政権を覆う統一協会の闇=五十嵐仁、国民に弔意を強制する憲法違反の国葬=中田進、ウクライナ戦争と日本の軍拡を考える=山田朗、なぜ憲法9条が大切か=21世紀の人類の「導きの星」=金子勝、〈基礎学習〉ジェンダー問題=坂井希、〈防衛白書〉と自衛隊=小泉親司、統一協会と自民党の癒着=柿田睦夫、維新の会の今、その本当の姿=西谷文和、〈文化・芸能〉松本清張没後30年に寄せて=高橋敏夫、生誕100年ドナルド・キーンの平和思想、没後90年を前に小林多喜二の文学、テレビ評・戦後77年の夏=山本長春、〈特別リポート〉菱谷良一さん・生活図画事件をめぐる道東の旅=川崎均、〈インタビュー〉吉田万三・同盟新会長に聞く、なぜ同盟女性部は必要か=大石喜美江、〈資料・治維法下の闘い〉映画「伊藤千代子の生涯」製作・上映運動の「突破点」=藤田廣登、

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。